

10月8日(火)

非凡な体験

聖書朗読 イザヤ書 6:1~8

たちまち私は御霊に感じた。すると見よ。天に一つの御座があり、その御座に着いている方があり
ヨハネの黙示録 4:2

非凡な体験をしたことがありますか？ 以前、車で空港に行く途中、ガソリンがなくなり困っていたら、見知らぬ人が車の乗せてくれて空港まで送ってくれました。私が車を降りて、お礼を言おうと思って振り返ったら、そこにはその人も車もありませんでした。今でも、その人は天使だったのではないかと思っています。

イザヤも非凡な体験をしました。イザヤは、主を取り囲む御使いとともに、王座に座しておられる主を見ました。敷居の基はゆるぎ、宮は煙で満たされていました。セラフィムは互い呼びかわし、「聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主。その栄光は全地に満つ。」と言っていました。

イザヤはこの見たこともない出来事のいくつかに反応しました。まず最初に、神様の御臨在と聖なることに畏敬の念を抱きました。そして、汚れた自分が神様の御前にいることを知り、自分はもうだめだと思いました。すると、セラフィムのひとりが飛んできて、その手には、祭壇から火ばさみでとった燃え盛る炭がありました。セラフィムはそれでイザヤのくちびるに触れ、彼の罪を取り去りました。イザヤは、神様が自分をご自身の目的にふさわしいようにしてくださったことを悟り、神様にお仕えすることができました。

私たちもまた、神様の聖さを知ることで、自分の罪を自覚することになります。そして、私たちを贖ってくださったことに感謝して、みこころを行なうことで、贖ってくださったことにお応えすることができます。

讃美歌 339

祈り 親愛なる主よ。私たちが、あなたの驚異の御力を認めることができますように助けてください。そして、御前で自分の過ちを認め、悔い改めることができますように。御子イエスを私たちに与えてくださることで、私たちを贖ってくださったことに感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

J. リチャード・トンプソン
テネシー州 ナッシュビル

10月9日(水)

喜んで出かける

聖書朗読 イザヤ書 55:6~13

いつも主にあつて喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。 ペリピ4:4

ここに座りながら、この原稿を書いています。裏庭の木々は風速26マイルのテキサス西部の風に吹かれて、まるで手を叩いているかのようです。この風は、今日、風速50マイルになると予測されています。そして、神様は、花やあるときは雑草を咲かせたり、草々を緑にしてくださることで、この世界に色を加えてくださいます。そして、平坦な西テキサスではない、どこかの山か丘が主の御前で歌い始めます。今日の午後、2歳の孫を保育園に迎えにいったとき、彼の笑い声を聞くでしょう。

パウロはどんな状況にあつても喜びを見出すことができました。私がそうできるかはわかりませんが、神様は私が手を叩いたり、歌い出したり、笑ったりする機会をたくさん与えてくださいます。主を求めるとき、主は喜びをもたらしてくださいます。

あなたには何が喜びをもたらしてくれますか？ 自然の中に出かけることですか？ 小さな子どもがおどける可愛らしさですか？ それとも若者が成長を見せてくれたときですか？ 特別な関係や特別な思い出？ それがなんであれ、今すぐそこに行きましょう。そうでしょうか？ たとえそれがあなたの心の中にだけあるものでも、そこに行きましょうよ。

神様を求めるとき、あなたはいつでも、喜びのあるところに行くことができます。喜んで出かけて、平安に導かれます。今日、あなたの喜びを喜びましょう！

讃美歌 112

祈り 主よ、喜びをありがとうございます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェス・パターソン
テキサス州、ラボック

10月10日(木)

光に手を伸ばす

聖書朗読 イザヤ書 60:19~21

神は光であって、神のうちには暗いところが少しもない。これが、私たちがキリストから聞いて、あなたがたに伝える知らせです。
I ヨハネ 1:5

裏庭に奇妙な形に曲がった1本の木があります。根と下の方の幹は塀の反対側にあり、そこから木は鋭く曲がって、全部の枝が庭に届いています。背の高い木々に囲まれて、この木は絶えず光に届くように苦戦しているのです。

地球上の生物に太陽の光が必要なように、人間には霊的光のみなもとが必要です。ヨハネは、神様こそがその霊的光のみなもとであることを明らかにしています。ヨハネは、「God is a light」(「a」は特にこれと断定しない不定冠詞)とも、「God is the light」(「the」は定冠詞)とは書かず、「God is light」と書いています。「God is light」は、A=Bといった等式のような表現です。言い換えるなら、神様と光は等しい、同じものということです。これは、「闇」とは対照的な神様の絶対的な性質を言い表しています。闇とは光がないことであり、神様という光とは真逆のものです。

「光の中を歩む」というのは、みことばの光の中で生きるということです。そうすれば、神様と神様を信じる人たちと交わることができ、罪の赦しを得ることができます。

聖歌 596

祈り 親愛なる主よ、あなたをほめたたえます。私たちの霊的光でいてくださり、ありがとうございます。私たちが常に闇から解き放たれ、あなたという光のうちにとどまっていますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

フィリップ・アイヒマン
サウスカロライナ州 アーモ

10月11日(金)

驚くべき計画

聖書朗読 イザヤ書 64:1~4

キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。

コロサイ 3:15

彼女は疲れ果てて、倒れ込むように病院のベッドのわきの椅子に座り込みました。そして、片手で、彼女のかたわらにいる生まれたばかりの双子の一人をゆらしています。彼女は、双子を出産して、4人の子供の母親となりましたが、1人で4人の子を育てることは大変な仕事であり全く手が足りません。生まれたばかりの双子の娘たちは12日間 NICU(新生児特定集中治療室)に入れられていました。そして、母親は、クウェートに派遣されている夫の帰宅を待ち望むばかりです。ふと目を上げると看護師が他愛ない話をしながら誰かを連れてきます。その相手が誰だか理解すると彼女は飛び上がりそうになりました。そこにいたのは、陸軍としてクウェートに派遣されているはずの夫だったのです。戦争の疲れをおくびにも出さずに彼はあふれんばかりの笑顔で花束を携えてやってきました。驚きが過ぎ去った後にやってきたのは安心と喜びの波でした。うれし涙をこぼしながら彼女は夫に手を伸ばし抱き着いたのです。一人で重荷を負った妻のことを思い心を痛めていたでしょう。そして同時にその再会の計画を踊る心で準備していたのです。

神様はこの父親のような複雑な感情を理解して下さっています。私たちが神様の計画に、驚き、そして喜ぶことを神様は優しく期待してくださっているのです。私たちは自分の人生の計画をし、その通りに進むことを神様に祈りますが、実は神様はそれをも超える驚くべき計画を私たちに用意してくださっているのです。さあ、神様の予想もつかない計画が明らかになり、その恵みが雨の様に地上に降り注ぐ日を待ちましよう。

讃美歌 291

祈り 愛するお父様、わくわくするような驚くべき出来事を今日も、そしていつもあなたが備えて下さっていますことを心より感謝しています。

イエス様の御名により。アーメン。

シリー・ボーウェン
コロラド州 ロングモント

10月12日(土)

新しい日々

聖書朗読 哀歌 3:19~24

私たちが滅びうせなかったのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ。
哀歌 3:22

本日の聖書箇所は何度も読んだことのある箇所だと思います。しかし、最初はこの箇所がエレミヤが詠んだ歌だとは気づかなかったのではないのでしょうか。そして、何回も読んだ後、あなたは、この希望と信仰の美しい叙情詩がイスラエルの崩壊に対して、エレミヤが哀歌の中で詠ったものであることを知ったと思います。エレミヤはユダ王国がその罪のために神様の手によって滅ぼされることを知っていました。哀歌3章19節から24節を読むと最後の3節に神様への期待が力強く書かれていることがわかるでしょう。

子供の時、テキサスのオゾーナからシェフィールドを結ぶハイウェイ290でランカスターの丘から西の方向を眺めた時のことを今でも鮮明に覚えています。丘の頂上から見ると、斜面に沿って木が生い茂っていて、その先にはペコス川の流れがありました。水の恵みを受けた、青々としたポプラの木の木立と、水が届かずに枯れそうな雑木林になってしまった2つがはっきりとしたコントラストで目に映ったのです。

川から離れた荒れた砂地で植物が育ちにくいように、困難の時、信仰は育ちにくいという潜在的要素があるかもしれません。しかしそんな困難な時の信仰ほどより鮮明に、意味あるものとして私たちに訴えかけてくるのです。

讚美歌 II 167

祈り 天にいます父なる神様。日が昇るごとにあなたの変わりない愛とあわれみを思い起こさせてくださり感謝しています
イエス様の御名により。アーメン。

クリス・フリーゼル
テキサス州 グランバリー

10月13日(日)

命名権

聖書朗読 ホセア書 1:2~11

彼らは、「あなたがたは私の民ではない」と言われた所で、「あなたがたは生ける神の子らだ」と言われるようになる。
ホセア 1:10

スタジアムに自社企業の名前を付ければ大きな宣伝効果がある、と知られています。AT&T スタジアムやアメリカン航空センターなどの知名度は全国区です。スタジアムは命名費として多くのお金を手に入られますし、企業は検索ワードやニュース、地図上などのありとあらゆる所に自社の名前を載せることができます。命名権は大きな産業なのです。

子供に名付けるというのも、同じように大きな効果を持っています。ある家庭では偉大だった親族の名前を貰い、子供につけるでしょう。またある家庭ではその時代に人気のあった名前をつけるでしょう。ロバートという名前はかつてはトップ5に入ったこともありましたが、今や40位台です。名前にも流行り廃りがあります。

もしあなたが子供の名前を付けるときにホセア書を参考にするというのなら、なかなかチャレンジなこととなるでしょう。イズレエル、ロ・ルハマ、ロ・アミなんて名前を付けたら、もしかしたら学校でからかわれてしまうかもしれません。しかしこれらの名前は、イスラエルの民に変化の必要性を伝えるために神様が選ばれたものでした。彼らの行いが正しくなく、もはや『神の子』と呼べる状態ではなかったからです。

ありがたいことに神様は最終的には私たちに素晴らしい名前をくださっています。私たちは私たちが救って下さったキリストに従う者、キリスト者と呼ばれているのです。以前は神の民ではありませんでしたが、今や、私たちは神の家族なのです。

讚美歌 II 163

祈り 敬愛する主よ、私たちを子どもとして愛して名前をつけて下さった方々に感謝します。イエス様の御名を通して。アーメン。

ロバート・P・ミュレン
テキサス州 ノースリッチランドヒルズ